

「じょもあ」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
JO・MORE (ジョモア)	縄文と情報発信の「JO」、もっとの「MORE」、青森の「A」を掛け、もっと青森県の縄文遺跡を世界に発信できる基地として愛される施設になればとの思いで名付けました。
JOMOA	青森県の縄文遺跡群をもっと広くPRしていきたい！そのため、縄文の“JO（じょ）”、もっとの“MO（more）”、青森・愛する・アピールの“A”をあわせて、“JOMOA（読み方:ジョモア）”と考えました。ローマ字表記にするのは、海外の方への発信を考慮しました。
JomoA	左から縄文、右から青森と読むことで二つの思いが込められています。そしてこの施設を左から右へ、右から左へとたくさんの人が行き交う施設になってほしいという願いを込めました。
JOMOA	「ジョーモア」縄文の魅力をもっと（MORE）知って欲しい。JOMON+AOMORI
JOMOA	”じょもあ”と読みます。縄文のじょも、青森のあ、から選びました。逆から読むと青森にできたらと思いましたが難しかったです。~JOMOAであじょも(遊ぼ)~
JOMOA	縄文青森をぎゅっとしました。
JOMO-A	縄文とAOMORIを表す“A”でアピール。
JOMOA (ジョモア)	縄文（JOMON）と青森（AOMORI）の魅力をもっと（MORE）多くの人に知ってもらえるように、という願いを込めました。
JOMORE	JOMON(縄文)とMORE(よりいっそう)を組み合わせたものです。より多くの人により深く縄文遺跡を知ってもらいたいという思いを込めました！
JO-MORE	縄文の事をもっといろいろな人に知ってもらいたいから英語でもっとという意味のmoreをつけた。
JOMORE !	「ユーモア」のある北海道・北東北の縄文遺跡群が、「MORE」もっと多くの人に伝わるよう思いを込めました。「縄文」に「ユーモア」と、「もっと多くの」という意味を持つ「MORE」の2つの言葉を掛けています。
あおもり縄文文化ふれあい館 じょもあ	施設概要から縄文文化にふれあうことができると感じたため「ふれあい」という言葉を入れた。親しみを込めて「じょ」う「も」ん、「あ」おもりから文字を取って「じょもあ」と名付けた。
じょもあ	青森のあと遊びのあ、じょうもんのじょも。
じょもあ	「縄文」「青森」「MORE(もっと)」を合わせて「じょもあ」としました。青森の縄文遺跡群を今まで以上に、知る、学ぶ、楽しむ施設、という意味を込めました。
じょもあ	縄文とモア（more：もっと多くの）でたくさんの人に来てほしいをアピール。
ジョモア(JOMORE)	縄文+青森の頭文字と、青森の縄文遺跡群を県民をはじめ、国内外、もっと多くの方に知って欲しい（more）、広く愛される場所になって欲しいという思いを込めました。

じよもあ青森	縄文とモア（more：もっと多くの）でたくさんの人に来てほしいをアピール。
青森縄文資料館 ジョーモア (JoMoA)	Jomon Museum of Aomriの頭文字から。「ジョージア」に似た発音で覚えやすく、縄文の情報(ジョー)をもっと沢山(モア)、という意味につなげています。
縄文ひろばJOY MORE!!	「青森の縄文遺跡群情報発信拠点施設」の概要を見て、縄文について「もっと楽しく」学ぶことが出来る素晴らしい施設だと感じたからです。